

## 目次

看護部だより	1
あなたの安心な治療を支える「薬剤師」の仕事	2～3
事務部より	4
外来医師担当表	5

発行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会

発行責任者：萩野 哲男

住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35

電話：055-253-6131

ファックス：055-251-5597

ホームページ：<https://kofu.hosp.go.jp/>

Eメール：227-nhokofu@mail.hosp.go.jp



新採用者一同



独立行政法人  
国立病院機構

## 甲府病院

の理念

National Hospital Organization Kofu National Hospital

### 理念

私たちは、良質な医療の提供を通じて、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

### 基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします  
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します



# 看護部だより

教育担当看護師長 山口 絢子

令和8年4月1日、看護部に20名の新人看護師、4名の既卒看護師を迎えました。緊張した面持ちで病院長より辞令を受け、甲府病院の職員としての日々が始まりました。新人看護師は就職後の1週間は甲府病院・看護部の一員として働くための心の準備をします。

患者さんの安全や自分の安全を守る方法を習得すべく、医療安全や感染管理の基本急変時の対応について学びました。



\* 感染管理研修で手指衛生と個人防護具の着脱練習をしました。学校では講義を受けていましたが、初めて詳しく教わり自分の傾向を知ることができました。

\* フィジカルアセスメントで道具がなくても観察する方法を伝授! 感じるかな?

コロナ禍から5類移行期に看護学生生活を過ごした新人看護師達。病院実習の不足を補うため、今年も病棟や手術室でのローテーション研修を行います。

看護基礎教育で直接患者さんと接する機会が少なく、不安を抱えている新人看護師に寄り添い、先輩看護師の指導のもと、基本的な看護技術の習得を目指していきます。



\* 急変時の対応では救急蘇生・AEDを学びました。みんな看護学校や教習所でやっていて上手!



看護師として第一歩を踏み出した20名が、1年後、2年後、3年後と自身の目標に向かい歩んでいけるように、そして患者さんへより良い看護提供ができるように先輩看護師と共に日々支援していきます。



# あなたの安心な治療を支える「薬剤部」の仕事

～安全でお薬の効果を最大限に引き出すために～



## はじめに

病院の正面玄関をに入って左に進み、突き当たりを左に曲がった廊下の途中に、私たち「薬剤部」の窓口があります。2026年4月現在、薬剤師8名と薬剤助手1名の計9名で、皆さんの治療を支える「お薬の専門家」として日々活動しています。

「薬剤師は薬局の奥でお薬を準備している人」というイメージをお持ちかもしれませんが、実は診察室や病棟、さらには手術室まで、皆さんの治療のあらゆる場面で安全を見守っています。

## 正確で安全な「お薬の準備」

私たちの最も大切な仕事の一つは、外来や入院中の患者さんにお出しする処方せんの「調剤」と、点滴などの「注射薬の取り揃え」です。

お薬を準備する際は、ただ袋に詰めるだけではありません。電子カルテと連動した最新のシステムを使い、飲み合わせに問題がないか、量は適切か、過去にアレルギーが出たお薬が含まれていないかを厳重にチェックしています。

また、最新の自動分包機や、粉薬・水薬を正確に秤量するための監査システムを導入しています。機械の「正確さ」と、薬剤師の「専門知識」という二つの目で確認することで、手間を省きつつ、何よりも「安全」を最優先に考えた調剤を行っています。

## 病棟でのきめ細かなサポート

入院中の患者さんに対しては、薬剤師がベッドサイドまで伺い、お薬の説明（服薬指導）を行っています。

「このお薬は、何のために飲むのか?」「飲むときに気をつけることは何か?」といった疑問に丁寧にお答えします。また、お薬の効果がしっかり出ているか、副作用の兆候はないか、他の職種のスタッフ（医師や看護師など）と密に連携しながら確認しています。

特に入院された直後には、それまでお家で飲んでいたお薬やサプリメントなどを全て確認させていただく「持参薬鑑別」を行います。これは、入院中の治療に影響が出ないようにするための、とても大切なステップです。

## 専門チームとしての活躍

現代の医療は、医師だけでなく様々な専門スタッフが協力する「チーム医療」が主流です。薬剤師もその一員として、様々なチームに参加しています。

例えば、感染症を防ぐチームや、栄養管理を支えるチーム、糖尿病のケア、床ずれ（褥瘡）の対策など、それぞれの専門知識を持ち寄って会議や院内ラウンドを行い、患者さん一人ひとりに最適な治療法を検討しています。

さらに、がん化学療法（抗がん剤治療）においては、お薬の調製から投与スケジュール、副作用のケアまで、専門の薬剤師が責任を持って担当し、安全に治療を継続できるよう努めています。

## 新しい取り組み：周術期薬剤管理（薬剤師外来）

最近、私たちが特に力を入れているのが、手術を受ける患者さんのサポートです。

2025年12月より、整形外科領域で手術を予定されている方を対象に「薬剤師外来」をスタートしました。手術の前後では、麻酔薬や痛み止めなど、普段は使わない特別なお薬を使用します。

術前に患者さんと直接面談し、現在のお薬の使用状況を詳しく把握することで、手術中や手術後の痛みのコントロールがスムーズに、そして安全に行われるよう準備を整えています。

## 皆さんへのお願い

最後に、大切なお願いがあります。それは「お薬手帳」の活用です。

お薬手帳は、あなたがどのような治療を受けてきたかを記録する、大切な「お守り」のようなものです。別の病院にかかるときや、災害時などの緊急時にも、あなたの体を守る情報源になります。

受診や入院の際は、紙の手帳でも電子お薬手帳でも構いませんので、必ずご提示をお願いいたします。

また、昨今は全国的にお薬の供給が不安定な状況が続いています。場合によっては、いつもと違うメーカーのお薬や、似た効果の別のお薬に変更させていただくことがございますが、治療に支障がないよう最善を尽くしておりますので、何卒ご理解いただけますと幸いです。

## 結びに

私たち薬剤部は、皆さんが甲府病院で安心してお薬の治療を続けられるよう、日々研鑽を積んでいます。

「いつも飲んでお薬のことで、ちょっと気になることがある」「お薬の飲み合わせが心配」など、どんなに小さなことでも構いません。どうぞ遠慮なく、薬剤部へご相談ください。



# 事務部より

## 甲府北ロータリークラブ様より児童図書等を寄贈頂きました

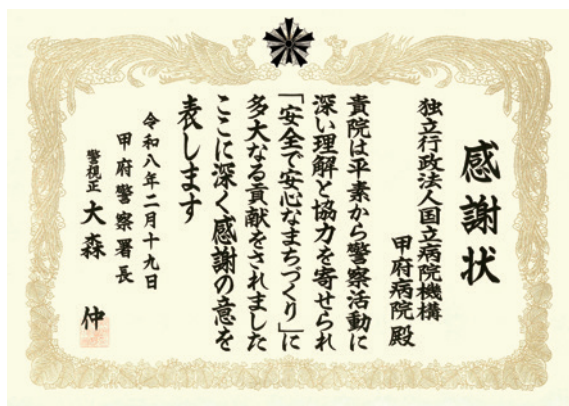
本年2月3日に贈呈式が執り行われ、心温まる児童図書等を寄贈して頂きました。子供たちが本を通して笑顔になり、楽しく過ごせるひとときにつながればと願っております。ご支援に深く御礼申し上げます。



## 警察署より感謝状をいただきました



当院では、本年2月5日に南甲府警察署、2月19日甲府警察署から各々、地域の安全確保のため、警察活動への支援、協力を果たしてきた施設として、感謝状の贈呈を受けました。今後も地域の安全のため、皆様に貢献できる施設であり続けるよう努めて参ります。



## 令和7年度一日平均患者数

(小数点以下第2位は四捨五入)

※ 3月分及び年間累計は4月1日現在

入院種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	一般	95.2	82.4	82.3	100.3	103.9	101.8	90.3	97.0	100.2	93.9	104.3	101.6	96.1
重心	123.6	122.4	122.3	122.7	124.3	123.7	123.6	124.4	125.9	124.7	123.7	122.4	123.6	
計	218.9	204.8	204.6	223.0	228.2	225.5	213.9	221.4	226.1	218.6	228.0	224.0	219.7	

※ 3月分及び年間累計は4月1日現在

外来	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	250.3	249.9	246.1	247.1	239.1	253.6	243.4	243.4	259.7	257.4	250.3	253.7	249.4	

国立病院機構甲府病院 外来医師担当表

2026年4月1日現在

			月	火	水	木	金	
一階	消化器内科	消化器内科診察室		白勢 大門		都倉 昭彦 (午後)		
	消化器外科	消化器内科診察室						
		診察室 1	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	
		診察室 2		土屋 雅人	土屋 雅人	土屋 雅人	土屋 雅人	
		(5階) 化学療法	診察室 1		○	○		
		診察室 2		○	○			
	内科	診察室 3				中尾 篤人		
		診察室 4	黒澤 理恵	黒澤 理恵	黒澤 理恵		黒澤 理恵	
		診察室 5	古屋 真由	古屋 直子	谷本由季絵 (第1・3)		堤 貴大 (第3・5) 谷本 由季絵 (第1・2・4)	
	糖尿病内科	診察室 4	黒澤 理恵	黒澤 理恵	黒澤 理恵	望月 美恵 (小児科)	黒澤 理恵 (小児科) 望月 美恵 (小児科)	
	循環器内科	診察室 6	葉袋 路子 (受付は10:30まで)		中村 貴光 (受付は10:30まで)		黒木 健志 (受付は10:30まで)	
	呼吸器内科	診察室 3			森下 彰友 (午後)		副島 研造 (午後)	
	神経内科	診察室 7			太田恵美子		太田恵美子	
	脳神経外科	診察室 8	長沼 博文	長沼 博文		長沼 博文	長沼 博文	
		診察室 9 (共用)					大学医師	
皮膚科	消化器内科診察室					川村 龍吉 (受付は10:30まで)		
整形外科 (スポーツ・膝疾患 治療センター)	診察室 11	午前	萩野 哲男	古屋 直人	河野 紘之	萩野 哲男		
		午後						
	診察室 12	午前	若生 政憲	河野 紘之		若生 政憲		
		午後				脊椎外来 勝 麻里那 (奇数週・予約のみ)		
	診察室 13	午前	入戸野雅人	落合 聡司	落合 聡司	落合 聡司	齋藤 正憲	
	診察室 14	午前		山下 隆	齋藤 正憲		山下 隆	
	診察室 15	午前	装具 外来		装具 外来		装具 外来	
	診察室 9(共用)	午前	山下 隆	麻野 康基	入戸野雅人	麻野 康基		
診察室10(共用)	午前	古屋 直人	千賀 進也	千賀 進也		千賀 進也		
検査室(内視鏡)	午前(上部)		土屋 雅人		村松 篤			
	午後(下部)				若尾 聡士			
小児科	午前	午前	沢登 恵美	内田 則彦	葉袋 周 (沢登 恵美)	沢登 恵美	田丸 徑 (望月 美恵)	
		午後		フォローアップ 久富 幹則	リズム外来	予防接種	フォローアップ リズム外来	
	小児専門外来 午後 完全予約制	1	神 経 (中村 幸介・石井 佐綾香・田丸 徑)					
		2	腎臓・リウマチ (沢登 恵美・中澤 瑞葉)					
		3	内分泌・糖尿病 (望月 美恵)					
		4	肥 満・栄 養 (内田 則彦)					
		5	成長・発育外来 (予約)					
		6	循 環 器 (大学医師) 第1木曜日、第3木曜日、第4水曜日					
7		摂 食 (小野 智佳子) 第1・3木曜日						
産婦人科	1	午前	滝澤 基	雨宮 厚仁	川瀧英梨子	雨宮 厚仁	滝澤 基	
		午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来					
	2 (予約のみ)	雨宮 厚仁	滝澤 基	滝澤 基 / 雨宮厚仁	滝澤 基	雨宮 厚仁		
眼科		古屋 敏江 (予約のみ)	古屋 敏江	古屋 敏江		古屋 敏江		
泌尿器科 (予約のみ)		滝花 義男(奇数週)						
耳鼻咽喉科					矢崎 裕久			

- 受付時間/平日(月～金曜日)午前8時30分～午前11時00分 水曜日・金曜日午後呼吸器内科受付時間/13:00～15:00(診察13:00～16:00)
- 消化器内科の初回受診希望時は、事前に内科外来までご連絡ください(予約電話受付13:00～16:00(平日のみ))
- 各科診療の予約状況により、初診及び予約外再診の方の外来診療をお受けできない場合があります。消化器内科、脊椎外来、泌尿器科の初診の受付はありません。

※ 右記のものについては事前の ● 小児科乳児健診 (月～金) ● 毎月第4金曜日午後 外来糖尿病教室 ● 出生前遺伝カウンセリング外来 予約が必要となります。 ● 予防接種 (小児科) 毎週木曜日

助産師・看護師による専門外来のご案内  
● 母乳外来 (月～金曜日) ● フットケア (開催曜日はお問い合わせください) ● 育児相談 (月～金曜日) (※事前の電話予約をお願いいたします)

**特殊外来ご案内**  
● 「物忘れ外来」は、脳神経外科(月・火・木・金曜日)で行っています。物忘れ外来の初回受診時は、診察予約及び他医療機関からの紹介状が必要となります(予約電話受付13:00～16:00(平日のみ))

**2026年度職員採用試験案内**  
看護師・助産師・看護助手の採用試験(パート)は随時行っています。  
申し込み方法 ※下記の電話番号に(平日8:30～17:15)直接ご連絡下さい。  
連絡先 国立病院機構甲府病院 庶務係長  
TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597

**作品募集**  
「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。  
■宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画室 細入  
e-mail: hosoiri.ken.se@mail.hosp.go.jp

**編集後記**  
春の訪れとともに、新人職員を迎える季節となりました。慣れない環境の中で一生懸命に学び、患者さんに寄り添おうとする姿に、私たちも初心を思い出しています。今号では当院の取り組みや新たなニュースをお届けしました。これからも、地域の皆様に安心していただける医療を目指してまいります。日頃の温かいご支援に心より感謝申し上げます。(編集委員 A・H)